

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

今日は!新潟市生涯学習センターです
新潟市・佐藤 信幸

4.5

- 2 トピックス 「新役員決まる 理事会、評議委員会開催」
- 3 視点 「公民館に望むこと」 新潟市・藤崎千恵子
- 3 ひろば 「大切な十か条」 弥彦村・齋藤 憲
- 6 実践記録シリーズ 「社会全体で子どもをはぐくむ運動」 新潟県立生涯学習推進センター・諏訪部寛栄
- 7 サークル交流 「笑顔で歌う」(新潟市) / 「楽しみながら物作り」(糸魚川市)
- 7 素顔拝見 今井 達也さん(胎内市) / 宮本 一則さん(村上市)
- 8 お元気ですか 十日町市・村山 幸子さん
- 8 恵贈資料紹介



「いきいき健康!ウォーキング講座in市民の森」(見附市)

表紙解説

講師の先生を招き正しい歩き方やストレッチの仕方等を学びながら春の日差しを浴びて楽しくウォーキングをしました。

「新役員決まる 理事会、評議委員会開催」

今年度の役員等を決める「第1回理事会、評議員会」が5月25日(金)に新潟市中央公民館で開催され、新役員が決まりました。



会長 湯浅 康夫
新潟市中央公民館長

〈会長に選出されて、その重責に耐えられるのか不安で一杯です。皆さまのご支援を得ながら会の運営に力を尽くしたいと思います。〉



副会長 内山 輝義
上越市立公民館長

〈会長を支えながら上越地区の活動と運営にも頑張りたいと思います。本年度の県大会の主管地区としてその運営にも全力であたります。〉



副会長 武樋 正隆
長岡市中央公民館長

〈来年度の関プロ新潟大会の開催主管地区として、しっかりと準備をして大会を成功させるべく万全を尽くします。よろしくお願いいたします。〉



副会長 宮本 周英
新潟市中央公民館長

〈県大会と関プロ大会の成功に向けて、微力ながら、精一杯仕事をさせていたいただきます。また、新潟市の公民館を発展させるためにがんばります。〉

決議機関である評議員会で、議長に妙高市の宮下義嗣

館長を選出した後、会長等の役員選任について審議し、いずれも満場一致で決定しました。

職名	氏名	所属
会長	湯浅康夫	新潟市
副会長	内山輝義	上越市
理事	武樋正隆	長岡市
理事	宮本周英	新潟市
理事	田原秀夫	糸魚川市
理事	佐藤 亨	出雲崎町
理事	宮路一規	燕市
理事	吉野晴記	阿賀野市
理事	渋谷直喜	村上市
監事	大野 務	見附市
監事	星野 弘	五泉市

なお、全市と町村の代表で構成される評議員数は全員で28名です。全員が関プロ実行委員を兼ねています。

*任期はいずれの役員も、平成24年度～平成25年度の2年間で。

また、平成25年度に関東甲信越静公民館研究大会(以後、関プロ大会)が南魚沼市で開催されることから、新潟県の湯浅康夫会長が今年度は関プロの副会長に、来年は会長に就任します。



会議に先だって正副会長会を開催



評議員会の模様

評議員会では、来賓としてご出席いただいた県生涯学習推進課長・三林康弘様から本会への激励を込めたご挨拶を

いただきました。

また、評議員会では議題として役員改選の他に

- 1 会務報告
 - 2 会計決算、予算
 - 3 活動基本方針、事業計画
 - 4 県大会、関プロ大会
 - 5 その他
- などが審議されました。その内容は本紙3月号に掲載されていますが、いずれも満場一致で承認されました。

次回の開催は

* (第2回理事会)

6月14日(木) 13時30分

新潟市中央公民館

〈関プロ新潟大会実行委員会〉

9月12日(水) 13時30分

長岡市・まちなかキャンパス長岡

(長岡市駅前大手通り)

県大会・糸魚川大会への参加を

7月20日(金)に糸魚川市で県大会が開催されます。只今、参加者の募集中です。6月20日〆切。各市町村公民館に申込んでください。

(田原)

視点

「公民館に望むこと」

新潟市 藤崎千恵子



少子化の影響か、子供は欲しい物はたいい手に入り、やりたいことは何でもやらせてもらえる贅沢で、ちよつと羨ましい時代になりました。でも、大人になっても続くことばかりではありません。辛い想いをたくさんしてもなかなか自分の考え通りには、ならないことの方が多くなると思います。

我が家でも少し前に「今日の野球の試合は負けてしまつて最悪。」と子供の発言。普通なら励ますところですが私は「最悪」の言葉が引つかりました。

「そんなことが最悪なら、あなたのこれからの人生、どうするの。」と返しました。何か頼んだら「無理」と言うことが多く、やってみる前から決め付けています。今は少しくらい、難しくてもまず、

強い心で挑戦していく勇氣を持つてもらいたいと思います。

インターネットや携帯などの言葉だけの陰湿なイジメについても新聞やテレビでも特集が組まれたりしています。でも直接、人の言葉で聞いた方がもつと、心に響くような気がします。例えば、体験された方に苦しかったこと、どうやって乗り越えたかなどを子供にわかりやすく話していただけたらいいと思います。

公民館では、子供たちは自分たちで、出来ないときは大人たちの手を借りながら、乗り越えて行ける環境作りや機会をなるべく沢山、作っていただくために、親である私も手もちろん、親である私も手を差し延べる事ができるよう、答えなき「子育て」に挑戦して行きたいと思えます。

H O T N E W S 掲 示 板

社会教育協会総会開催 生涯学習協会に名称変更

5月29日(火)新潟会館において(社団法人)新潟県社会教育協会の総会が開催されました。

役員改選では、15年間会長職にあった小林美代子氏が退任し、新会長に薄田泰元氏が選出されました。副会長は田中昭平氏を留任とし、新任として高橋金一氏、小野庸子氏を選出しました。また、昭和48年に認可された「社団法人」を解消して「任意団体」とし、名称も「生涯学習協会」として新たなスタートをきりました。



新会長、副会長の紹介とあいさつ

「大切な十か条」

弥彦村社会教育委員 齋藤 憲

- 一 子育て・親育てのための「北九州・子どもを育てる十か条」があるそうです。
- 二 朝は明るく笑顔で「おはよう」
- 三 家庭にも「ありがとう」「ごめんねさー」
- 四 子育ては「誉める・叱る・見守る・抱きしめる」(我が家は?)
- 五 聞く時は子どもの目を見て心を聴いて
- 六 食事が楽しい家庭にしよう
- 七 大切にしたい物より体験
- 八 まず親がきちんと実行社会のルール(我が家は?)
- 九 声かけて地域の宝子どもたち
- 十 教えよう平和と命と助け合い(我が家は?)
- 十一 子どもと夢を語り合おう



生涯学習センターです

学んだ学習成果を地域に還元していく場を目指すとともに時代や社会の要請に応え新潟の地域性や方向性を考慮したテーマ等について多様な学習機会を提供する場としています。また、学習を深めるために出来る限りゼミナールを実施しています。

イ 内容等

開設コースは「現代の社会問題」「人間理解」「新潟学」「生命・自然科学」の4つであり、その中から7講座を実施しています。特に、市民から学習したいテーマを募集して実施している「市民企画講座」は毎年2桁台の応募があり最終的に公開プレゼンテーションで講座案を決定しています。また、今年度から県内26の大学で構成されています「高等教育コンソーシアムにいがた」と連携した講座を開催します。各講座とも原則10回単位で1講座の受講料は1万円です。

長年にわたる開催のため講座がマンネリ化しない工夫や新潟らしさ～独自性の発揮が課題です。

(2) 生涯学習ボランティアの育成支援

21世紀はボランティアの時代と言われているとおり当センターでのボランティア活動は学習情報の提供・相談やボランティアバンクなどの各分野で年々活発に行われるようになっていきます。

その為、市では生涯学習相談ボランティア養成講座、同ボランティアバンク入門講座、同フォロアアップ講座などの研修会を実施しボランティアの増大を図るとともに受講修了者が活躍できる機会を提供するなど育成支援策を展開しています。



平成24年1月25日、にいがた市民大学「持続可能なにぎわいのある新潟の「まちなか」を目指して」講座。旧小澤邸での見学・講義風景。

内容等

- ・生涯学習相談（ひだまり）

学習相談では毎週火曜日、水曜日、木曜日の3日間の半日、学習相談ボランティア「ひ

だまり」の皆さんが輪番制で市民への学習相談に応じています。現在、登録者は28人、相談件数は年間200件程度です。

- ・パソコン初心者講習会

毎月複数回の頻度でパソコン研修室においてパソコン指導ボランティア「パソコン若葉」の皆さんが初心者向けの講習を実施しています。登録会員は19人で年200人強の市民が受講しています。毎回盛況で更に講習会の回数増と中級、上級レベルの開催要望が出ていますので、民間活力の導入を含むパソコン研修室の活用策を考える時期になってきたのかもしれない。

- ・生涯学習ボランティアバンク

生涯学習に関する知識・経験や優れた技能等を有する地域の方からバンクに登録していただき、学校や地域などからの依頼で登録者に活躍の場を紹介しています。現在の登録者は個人・団体構成員で約900人、派遣件数が約90件、260人となっており、派遣された登録者及び派遣先とも満足度は高いようです。

- ・生涯学習センターボランティア「Lの会」

この会は当センターで学習する市民への支援と交流を図ることを目的にボランティア養成講座受講生有志により平成17年に発足しました。会だよりの発行、館内の美化活動、共催事業として主に会員の技能など技を活用した子どもの体験イベントや美味しい米粉料理などの事業を実施しています。事業の企画は会員の知恵を結集して練られていますので職員も感心すること多々あります。会員は30人弱と設立時から減少していることが課題となっています。

おわりに（今後の展開）

クロスバールにいがたの旗のもとに生涯学習センター、中央公民館、図書館という生涯学習・社会教育の3機関が複合化されたことは利便の面からも市民の生涯にわたる学習支援に大いに貢献していると考えます。利用者人数がほぼ横ばい状況のなか実施事業の見直しを図るなど更に新しい利用者の発掘が必要ですし、学習相談窓口なども当センターに限定せず市内の公共施設などに出前するなどボランティアの活動範囲を広めていくことも検討が必要と思われます。いづれにしても市民の学習活動の支援策に決まりきったやり方はないと思います。生涯学習・社会教育関係者の英知を結集して、特に社会教育の実践の場である中央公民館と一体となった施策展開により人材育成をはじめとする諸課題を解決するための事業をリーディング的、パイロット的に実施していくセンターを思い描く今日この頃です。

特集

今日は！新潟市



新潟市生涯学習センター
所長 佐藤 信幸

はじめに

それは突然はじまったと今でもそんな印象をぬぐい切れません。昭和63年に文部省社会教育局が生涯学習局に再編され省内の筆頭局となり、これまでの学歴社会から学習歴社会へとという「新しい風」が全国に吹き始めたのです。

平成2年に生涯学習振興法が施行、その後、都道府県での生涯学習推進基本計画の策定がなされ始めたころ新潟市でも第1期生涯学習推進基本計画が平成3年1月に策定されました。その計画事業の目玉が生涯学習推進の核となる当センターの設置といっても過言ではないでしょう。

1 設立の経過など

当センターがその基本計画事業に位置付けられたことを受け、建設計画を具体化していく中で設置場所をどこにするか、単独か複合利用などの諸課題の内部調整、更に地元などとの協議にかなりの時間を要しました。その結果、平成17年5月中央区の礎小学校跡地に「生涯学習センター」と「中央公民館」及び市民の国際交流・協力の活動拠点である「国際友好会館」が一緒になった「クロスパルにいがた」が誕生しました。

「クロスパルにいがた」は愛称。複合化されたのでどういう性格の建物なのかを市民の皆さんから容易に理解をいただくための愛称を全国から公募したところ、北海道の方からの応募の名称が選考されました。クロスは市民が交流する場所、パルは友達・仲間を意味し、異なる施設の利用者が交流し、友情を育んで欲しいとの願いがこめられています。

2 目的・施設概要等

当センターは市民の生涯にわたる学習活動を支援し、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するための施設です。様々な団体活動に対応した講座室や映像ホール（150人収容）をはじめ、個人利用可能な学習室（52席）、情報検索コーナー（4台）、パソコン研修室（14台）を配置しています。さらに個人学習の最大の支援者であり有力な学習情報源であります図書館も併設されました。

図書館の蔵書数は約60,000冊となっており、センター周辺はビジネス街であり国際友好会館もありますのでビジネス関係や国際関係の図書も豊富に揃えられた特色ある施設となっています。

複合化のメインは中央公民館です。老朽化し平成17年4月に閉鎖した旧中央公民館も心機一転、活動

をここで開始しました。活動団体も約300から800団体に増加、地域コミュニティの形成や人材育成に寄与する施設として様々な講座・学級等の開催により市民の社会教育活動を奨励・支援するとともに正に市のトップ公民館として市内の各公民館との連絡・調整を行うなど中核的な役割を果たしています。

3 利用状況

開館から8年目を迎え、クロスパルにいがたの名称が市民や利用者に親しんでいただけるようになりました。利用者は国際友好会館も含めた全体で年平均約55万人、公民館では約60%強と高い稼働率となっています。今年10月からの公民館有料化に伴うセンターの利用状況がどう変化していくのかわかりませんが、更なる研修室の利用を図っていくことは当然です。

個人利用ができる学習室は開館から数年間、1日3回の入替を実施していましたが現在では繁忙期以外を除き入替制を取り止めました。類似施設の新設や利用者の理解が進んだものと考えます。

また、パソコン研修室には14台のパソコンがありますが1人1日2時間（最大4時間まで可）の入替制でも盛況の状態です。当初は高度情報化社会に向けての啓発という意味合いの初心者向けのパソコン教室用でしたが、有効利用ということから個人利用も行いました。昨今、個人学習室とパソコン研修室には多くの外国人の利用が目立つようになりました。



平成23年8月14日、「お米変身～美味しい米粉料理」講座で、米粉シチューとさつま芋ケーキづくりを楽しむ。

4 主要事業

「にいがた市民大学の開設」と「生涯学習ボランティアの育成支援」の2つの主催事業を紹介します。

(1) にいがた市民大学の開設

この事業は、市民の高度で専門的な学習要求に答えるために平成6年度に開設し、その間2回の見直しを行いながら24年度で18回目を迎えます。これまでに約7,000人の方が受講しています。

ア 特色

実践記録

171

シリーズ



「社会全体で子どもをはぐくむ運動」

新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課長 諏訪部寛栄

◇「社会全体で子どもをはぐくむ」運動

新潟県では、子育てや家庭教育を親や家庭だけの責任とせず、社会全体で考え支援していくことを目指して、「社会全体で子どもをはぐくむ運動」を平成16年度より推進し、様々な取組を実施しています。

今年度は、11月30日に聖籠町町民会館を会場に、「社会全体で子どもをはぐくむ運動」フォーラムが予定されていますので、「地域の子どもたちのために何とかしたい!」と考えておられる方や実践しておられる方の参加をお願いします。

◇家庭教育支援者養成に関わるアンケート結果から

新潟県では、昨年、県内市町村の担当者に家庭教育支援に関するアンケート調査を実施しました。その質問項目の中で、「家庭教育支援の活動に関わるボランティアや指導者の養成を行っているか」をお聞きしました。その結果は、約80%の市町村が「行っていない」との回答でした。家庭教育支援に関する施策を行う上での課題第1位が、「ボランティア・子育てサポーター等の人材不足」(約45%)でしたので、このアンケートから家庭教育支援者養成が喫緊の課題であることが浮き彫りになりました。

◇県立生涯学習推進センターの取組

このような県内の現状をふまえ、平成23年度は、当センターの従来の研修である、家庭教育に関する指導者・支援者のステップアップ研修会だけでなく、家庭教育支援者養成のための「家庭教育支援者ステップアップ研修会Ⅰ～はじめの一步～」を募集した所、定員を超え、応募者多数のため、やむなく抽選にて参加者を決定させていただきました。

そこで、今年度は、家庭教育支援者養成研修会を当センターと長岡市中之島文化センターの2会場で、実施することにしました。当センターの研修に参加したくても、遠くてあきらめていた方のためにも、講師と当センターのスタッフが長岡まで出向き、講座を実施することにしました。

講師は、全国的に活躍されている方ばかりです。

特に、九州女子大の大島まな先生は、新潟県で初めての指導となります。新潟にいながらにして、最新の子育て支援の方法論や全国の取組を知る機会となります。また、参加した仲間同士のグループワークの時間を多く取り入れていますので、新潟県内の情報交換の場となると思います。参加された方々がこの研修を機会にそれぞれの地域の子育て支援や家庭教育支援の核となり、活躍されることを期待しています。ぜひ、多数の参加をお願いします。

【家庭教育支援者養成研修会～はじめの一步～】

10月、11月、12月：全5回開催

会場：長岡市中之島文化センター、
県立生涯学習推進センター

【家庭教育支援者ステップアップ研修会】

10月、12月：全3回開催

会場：県立生涯学習推進センター



コーチングによる人材育成の第一人者丸山結香先生

問い合わせ

新潟県立生涯学習推進センター

〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号

TEL 025-284-6110 (代表)

FAX 025-284-6019

ラ・ラ・ネットURL <http://www.lalanet.gr.jp>

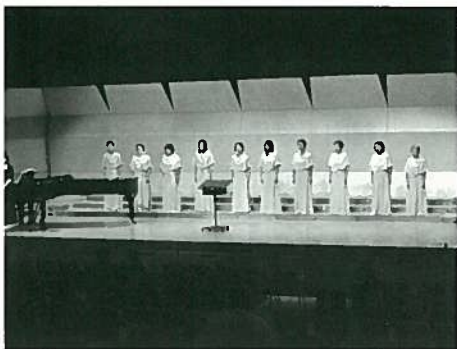
E-mail: nlpc@mail.lalanet.gr.jp

笑顔で歌う

コーラスつきがた

歌う事が好きな仲間が集まり、現在は10名と少ないが月3回土曜日の夜に練習し、平成10年から今の指導者に教えてもらっています。きれいな

声を出すには、まず笑顔で歌う事と言われるが、難しい曲になると、笑顔を忘れているとよく注意を受ける。腹の底から声を出すのでストレス発散とダイエツトにも良く、毎回の練習を楽しんでいます。毎年4月29日に「全日本おかあさんコーラス県大会」が、今年は県民会館で開催され、「チューリップ賞」を受賞し、



7月7日〜8日に静岡市民会館で「第35回全国日本おかあさんコーラス関東支部大会」が開催され、そこに出演出来るので楽しんで歌って来ます。

新潟市 コーラスつきがた
平原智恵子 記



楽しみながら物作り

陶芸教室 青陶会(せいとうかい)

生涯学習の一環として始まり、平成七年に「陶芸教室青陶会」を発足、平成二十二年に十五周年記念事業を開催しました。

発足当初は講師の陶芸家・金井正先生のご尽力とご指導

をいただきながら活動し、現在は十五名の会員同志が指導者となり、今まで習得した手法・技術を話し合いながら作陶に勤しんでいます。

土から物を作り、窯から出して作品になる陶芸の全工程を会員で行っている教室です。四月には、二年に一回の計画でもある作陶展を開催でき、成果を皆で喜びあいました。

次回の作陶展に向け、技術向上はもちろん「楽しみながら物作り」をモットーに、声をかけあいながら教室に通っています。



糸魚川市・陶芸教室 青陶会
平林 寿子 記

今年4月から村上教育事務所(村上地区公民館)で活躍されている、宮本一則副参事を紹介します。

公民館に勤務する前は、政策推進課情報化推進室で6年間勤務され、デスクワークを主としていましたが、公民館という接客、外の仕事に大変やりがいを感じていると話しています。

趣味は合唱で各種発表会に

村上地区公民館
副参事 宮本 一則さん



参加し、息のあったハーモニーで楽しんでいます。スポーツ面では、数年前までバドミントンを少々たしなんでいた様です。

今後も適切なアドバイスで村上地区公民館を引っ張っていただける上司です。

(村上教育事務所 主査 高橋 佳広 記)

本年度、新採用で生涯学習課に配属となった今井さんを紹介いたします。社会教育係において成人式・囲碁将棋大会・緑の少年団の事務を担当しており、毎日奮闘・格闘中です。

先日の緑の少年団街頭募金活動では、団員と年齢も近いこともあり初めての活動とは思えないくらい団員の心をしっかりと掴んでいました。団員にとっては「指導者」というより、「お兄さん」という

胎内市生涯学習課
主事 今井 達也さん



感覚で今井さんと接していた様子がとても印象的でした。

若い感性と、持ち前の優しさを武器に胎内市の生涯学習事業を盛り上げていってもらいたいと思います。

(胎内市生涯学習課 主任 新村 和宏 記)



全国的に公民館活動が注目されている島根県が発行した「地域力」を醸成するための公民館活動をまとめた冊子が刊行されました。

①は、平成21年度～23年度までの島根県内34館の取り組みを紹介しています。

②は、平成23年度のモデル公民館11館の取り組みを紹介しています。

①、②どちらも取り組みの内容が具体的に紹介されていて大変わかりやすくまとめられています。



恵贈資料紹介

発行 島根県公民館連絡協議会

問い合わせ
島根県公民館連絡協議会
〒690-8502
島根県松江市殿町1
島根県教育庁社会教育課内
電話 0852-22-5429
または、県公連事務局まで



お元気ですか



村山 幸子 (十日町市)

退職前の7年間、地区公民館に勤務していました。公民館に楽しそうに通ってくる高齢の女性と接しているうちに「ひよっとしたら女性の人生の華は70歳代かもしれない」と思えました。家庭や仕事を少し卒業し、やっと自分のために時間が使える年齢になった大勢の女性が公民館を利用してきていたからです。仕事を通して多くの高齢者の生き方を学べたことはとても幸せだったと思います。

私も退職し、庭の手入れや、90歳を過ぎた父と花見ドライブなど、今までできなかったことができる喜びを感じながら、日々新鮮な気持ちで過ごしています。

華の70歳を目指し、いろいろ挑戦したいです。まずは「梅干し」を漬けてみたいです!

information

関ブロ松本大会に参加しませんか

- 第53回関東甲信越静公民館研究大会
- 1 テーマ 「明日の公民館を考えよう」
 - 2 主管 長野県公民館運営協議会
 - 3 期日 9月27日(木)、28日(金)
 - 4 会場 松本市・松本文化会館
宿泊：浅間温泉
 - 5 申込み 6/20〆切
市町村公民館事務局へ



国宝 松本城

河川愛護月間

毎年7月は「河川愛護月間」です。動植物の良好な生育環境をもつ、豊かで美しい河川環境の保全・再生への取組みに協力しています。

新潟県河川協会
会長(加茂市長) 小池清彦

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025 (285) 0041 FAX 025 (285) 1609

あ と が き

事務局長のつぶやき
評議員会が終わって今年の事業が本格的にスタートしました。今日は6月1日。衣替えとともに初夏の到来です。アウトドアスポーツなどに良い季節になりました。昨年の

夏は、梅雨明けの豪雨と洪水。続いて猛暑。今年も春先から、竜巻や突風の発生。雹が降るなどなにやら怪しい気候続き。スポーツを楽しむためにも、好天を願って日ごろの行いを良くしたいと思えます。(田原)